

聖ヴェンセスラウスと創立記念日

カトリックセンター 渡邊 浩

聖ヴェンセスラウス(ヴァーツラフ)はチェコ共和国とその首都プラハの守護聖人で、その亡骸は現在もプラハの聖ヴィート大聖堂に安置されています。彼は10世紀初頭のボヘミア公、つまり支配者でした。祖母の影響でキリスト教に帰依し、カトリック信仰に基づいた国造りを目指します。ただし、キリスト教の受容はドイツからの宣教師の受け入れも意味したため、なおも異教の伝統を守ろうとした人々は、新興国ボヘミアが強国ドイツの支配下に置かれることを危惧しました。そのため、反対派は、919年9月28日、ヴェンセスラウスを教会の入り口で殺害しました。彼はキリスト教の布教のために命を

落としたわけですから殉教者、聖人と見なされることとなります。殉教者であれば死後すぐに天国に入らずなので、地上での命日、つまり9月28日は天国での誕生日、祝日となります。この聖ヴェンセスラウスは、同じ名を持つヴェンセスラウス・キノルド司教にとっては守護聖人となりますが、司教はこの聖人の祝日を選んで、藤学園最初の建物の上棟式を執り行いました。これが藤学園の創立記念日の起源ですが、ここには、自らの守護聖人の功績に倣い、異教の地でカトリック信仰に基づく教育に取り組もうという、キノルド司教の強い決意がうかがえるのではないのでしょうか。



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネ 15章5節)

第2回講演会のお知らせ

カトリックセンター主催の第1回講演会は、ハンス ユーゲン・マルクス学長にお願いし、7月に両キャンパスで行われました。大学というものの成り立ちとキリスト教の関係について、中世を中心にお話いただきました。

第2回はその続きとして、「大学とキリスト教 ～近代の大学を中心に～」講演会を企画しました。

多数のご参加をお待ちしています。

講演会の日程は次の通りです：

演題 「大学とキリスト教」

ハンス ユーゲン・マルクス学長

*11月28日(火) 16:30～18:00

北16条キャンパス

*12月1日(金) 16:30～18:00

花川キャンパス

これは同じ内容ですので、どちらかをお聴きください。

聖書のことば：

体のともし火は目である。
目が澄んでいれば、
あなたの全身が明るいが、
濁っていれば、
全身が暗い。

(マタイ6章22・23節)

第25回ASEACCUカンファレンス印象記

副学長 藤井義博

ここはローマかともがう壮大な石造りの校舎群、大聖堂とタイらしい広い池もある広大なアサンプション大学での節目となるASEACCUカンファレンスに、本学の学生2名とともに参加しました。学生キャンプは8月21日から始まり、教職員カンファレンスが始まった24日夕方以降、学生と合同のスケジュールで進行し、26日の最終日には学生代表による生き生きとしたキャンプの総括もありました。今回のテーマは、「カトリック大学と包含教育 (Inclusive Education) : 空間の変形、実践の促進、心の変容」でした。身体障がいや発達障がいなどの障がい者を垣根なくどのように大学にそして社会に受け入れるか、これは日本でも近年の課題です。

今回は、“inclusiveness” というパワフルな概念により、教育において共に個人の創造的な主体性をいかに発揮するかに焦点が絞られており、“大いなる概念”を共有の礎として課題にアプローチする意義を学びました。

学生ボランティアの募集

カトリックセンターでは、学生の有志にも協力していただく方針で、ボランティアを募集しています。カトリック信徒であるかどうかに関わらず、どなたでもどうぞ。

- * クリスマス・ミサや卒業ミサのお手伝い
- * 聖歌隊をつくって儀式 (ミサを含む) で聖歌を歌う
- * 学内の宗教的飾りつけ (クリスマス期) など

関心がある方は、北16条の学生は学生課の鷲足まで、花川の学生は人間生活学科の Sr.木村までお申し出ください。

読書会のお知らせ

◇ 『いのちへのまなざし』

わたしたち一人一人に与えられた、このかけがえのないいのち。全被造物をやささといつくしみをもって見守る神のまなざしが、わたしたちひとりひとりのまなざしとなるようにと願う、いのちのメッセージを一緒に読んでみませんか。

いのちに関わる現代の諸問題について考えてみましょう。 **9月21日から開始。**

教皇フランシスコのTwitterから



Pope Francis [@Pontifex](#)

If you pay attention to the heart, you will find you are close to the Lord and to others.

The Gospel invites us to answer first and foremost to God who loves us and saves us, recognising Him in our neighbor.

When something makes us suffer, let us listen to the voice of Jesus in our hearts: “Do not fear! Go ahead! I am with you!”

When we are feeling sad, when it feels like everything is going wrong, we should remember: “God loves me. God never abandons me”.



テキスト: 『いのちへのまなざし』
(増補新版)

編著: 日本カトリック司教団
カトリック中央協議会発行(定価500円)

勉強会担当者: Sr.永田 淑子

E-mail: smnagata@fujijoshi.ac.jp
yonagata203@gmail.com

開催日:(予定) 変更可

毎月 第1・第3木曜日 9:30~10:30

場所: ミッションルーム

北16条キャンパス 新館8階

学年・学科を問わず、どなたでも歓迎します。申込・お問い合わせはメールで。

